



うらにし 9月号



第 152 号
2015 9月1日
発行：浦西自治会
編集：自治会広報部

・夏祭り 無事終了！

今回の夏祭りは天気に振り回されて、右往左往の祭りとなりました。会員の皆様には豪雨・雷雨にもかかわらず、足をお運び頂き感謝申し上げます。

開始と同時にバケツをひっくり返したような大雨・稲光で屋外での実施は困難と屋内実施へ決断。ところが、音響のコードが内部まで届かないため、音に関しては迫力に欠けることとなりました。

それでも、出演者は大張り切りで一生懸命、踊って歌って頂きました。狭い空間だったことで会員同士の距離も近づいたと喜ぶ声がありました。多種多様な舞台が繰り広げられ熱気はムンムン。盆踊りは時間短縮もなく大満足。初登場の「りゅーちゃん」は子どもたちに大好評。抽選会のプレゼンターまでやってもらいました。なんやかんやありましたけど、班長始め関係者のお蔭で終了できました。ありがとうございました。



・大雨吹きとばせ公民館で祭り

浦西自治会による第 33 回夏祭りが 15 日、浦西公民館であり、地域の人々が暑気払いを楽しんだ。子どもたちのエイサーや団地の人々が所属する浦西中吹奏楽部も参加。地元の夏祭りを楽しみに市街から駆け付けた人もおり、賑やかに過ごした。

ことは公民館前の道路を通行止めにして祭り広場を広げる予定だったが、あいにくの大雨。「祭」と染め抜いた法被姿で臨んだ宜野座会長は「自治会最大のイベントだからね、やらんと」と公民館の室内を祭り会場に作り替えた。団地の浦崎和人さんの所属するアイリッシュ音楽団「Nina」は住民の手拍子に合わせてアイルランド版のカチャーシーを披露。メンバーの一人に「踊ろう！」と手を引かれた宮平萌さん（10 歳）は顔を真っ赤に染めた・・・（抜粋）
沖縄タイムス（8/31）

行政区住民登録人口（8 月末）

世帯数 676 総人口 1807
自治会加入 406 加入率 60%

定期清掃（第 3 日曜日） リサイクル活動（同上）

//// 9 月行事 ////

- 5 日 かりゆしカラオケ大会
- 6 日 美らまち通り隊活動日
世界のおはなし会
- 13 日 敬老会
- 19 日 寿 Jr 焼物・OIST 見学
- 27 日 評議員会・班長会

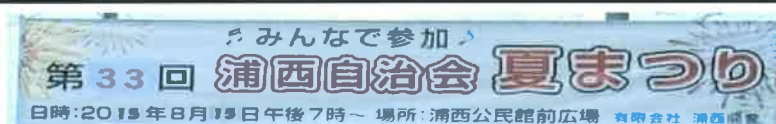
自治会対抗

- ハンドボール 20 日
- ゲートボール 20 日
- ソフトボール 13 日

歌声喫茶「懐かしのうたごえ」

10 月 23 日（金）10～12 時

・夏祭り 15 日（土）公民館内



妖怪体操第一 全員で

松本市長

ふれあいサロンバザー

・寿 Jr. グランドゴルフ大会 & 終活説明会 11 日（火）浦添市多目的屋内運動場 26 名参加

天候に左右されない・紫外線・日焼けの心配がないことで屋内にて実施。貸切状態で和気あいあい。楽しい G・ゴルフとなりました。



終活情報センターの担当を招き、簡単な終活説明会を実施。遺産相続やその他の身の回りの整理の仕方を分かりやすく説明。早いに越したことはないとのこと



・夏休みラジオ体操終了



長かった夏休みも、あっという間に終わりました。今夏のラジオ体操は、大人と子供が一緒に公民館前広場には溢れんばかりの元気な声が響きました。期間を通して休まず参加した頑張り屋さんに皆勤賞を授与しました。お疲れ様でした。

中学生 西里紫湧
小学生 仲村和呼 宮平萌
山田妃夏 山田浩太
下地心春 比嘉りおら
子供育成会の皆さんご苦労様！

告知板 ↓↓↓

・敬老会

日時 9 月 13 日（日）正午～
場所 公民館ホール
対象 70 歳以上（招待）

・寿 Jr. 9 月行事

やちむんの里 & 大学院大学見学
日時 9 月 19 日（土）9 時～



・世界のおはなし会

6 日（日）10：30～11：10
場所：浦西公民館ホール
浦添市図書館主催「としよまるスペシャル」です。



世界からやってきた JICA 研修員が、自国の言葉で本を読んでもくれます。

・浦西中学校 平良 盛健校長（寄稿）

早いもので、赴任し、あっという間に 5 か月がたちました。以前勤務していた小中学校と大きく違い、生徒数が二倍以上あり、数で圧倒されるほどでした。



でも、新任校長を見る一人ひとりの目は、きらきら輝いていて頼もしく感じました。この生徒たちとなら、新しい雰囲気为学校が創れると強く感じ「新生、浦西中」で、出発して行こうと全校生徒に呼びかけたことを覚えています。これは、可能なことです。実現させることは、この夢に賛同し共に声をかけ、汗をかく同士が必要なのです。その一人が教職員であり、生徒たちであり、保護者であり、地域の方々です。本校では、過去に大変な時期もあったと聞いていますが、過去を振り返らず、これから素晴らしい浦西中学校。地域の皆さんが誇りに思う中学校。保護者が通わせてよかったと思える学校。教職員が自分の子も通わせたい学校。生徒がこの学校で良かったと思える学校を共に手を取り合って、作っていきたく考えます。今後とも協働体制で頑張っていきたいと思います。新任校長としてご協力ご理解をお願い致します。

「夢は大きく、思いは深く、気もちは一つ。」

・世界の秘境・ヒマール〜 E-53 坂本守章（No13）「習慣の違いについて」

ネパールに来て 1 年経過しました。昨今の頃は、はたして言葉は聞けるだろうか？とか、しゃべれるだろうかの心配の毎日でしたが、どうにかここまで活動することが出来ました。先週、突如としてバスの車掌（日本の車掌とは異なって行き先を喋って、客を拾い込む）の言葉が耳へすなりと入り、理解することが出来ました。この現象は、誰もが経験するようで、若い隊員達はだいたい 9 ヶ月頃に訪れるようです。私は 12 ヶ月目で経験しましたが、これを境に言葉が上達するとのこと。はたして上達するのでしょうか？ 心密かに期待しています。

今回は習慣（又は文化）の違いを紹介します。最近、私が勤務している職場の塀の工事がありました。そこで驚いたことが起こりました。日本だと道路に面した側をきれいにし、内側は予算があればきれいにしますが、予算がなければあまりきれいにしません。ネパールは逆です（写真 1・2）。内側（職場側）をきれいにし、外側（道路側）はさほどきれいにしません。この事を夕食の時に大家さん達に話してみましたが、内側をきれいにするのが当然だと言っていました。

他にもう一つ身近なところでの行為で掃除の仕方です。私達は、ほうきを使うときは自分から遠いところのゴミを足下に寄せますが、ネパールは逆です（写真 3）。自分の足下から外側へ掃きます。そして、大多数の人は掃いたゴミを拾おうとはしません。とにかく、自分から遠いところへゴミを移動するだけです。ネパールへ来た時にこの光景を見て「なんて無駄なことをしているのだろう」と思いました。今でもそう思っています。

でもネパール人は、道路に移動されたゴミは、道路を掃除する人が拾うことに役割を分担しているようです。私には理解できません。このような習慣の違い（又は文化の違い）は歴史がそうさせたことだと思います。国の周りが大国で、領土を侵したり侵されたり繰り返す、先ずは自分の身を守ることが日常の生活の中でもベースになった事だと考えます。他人を思いやることは大切ですが、それ以前に自分の身を守る行為はそこで生活して理解することだと思っています。

写真①

写真②

写真③



＊リサイクル収益金

8 月末実績
145,882 円

毎月第 3 日曜日

収益金は自治会活動費として有効に活用されています。今後とも、新聞、段ボール、アルミ缶などの提供にご協力お願いします。＊アルミ缶はつぶして出して頂けると助かります。



・黄色いベンチ（公民館前バス停）

公民館前バス停のベンチが、長い間、脚が折れ、ペンキもはがれ衰れた状態でしたが、この度、脚も復活し黄色い、目立つ色で鎮座しています。座り心地をお試しください！

＊香典返し＊ ありがとうございました。
安里幸憲様より（E38） 故（母・マサ様）50,000 円